

令和5年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

観光ブランド推進課

1 施設の概要等

施設名	矢野温泉公園四季の里		
所在地	府中市上下町矢野		
設置目的	市民の保健及び休養に資するとともに観光事業の振興を図る		
施設・設備	あやめ園、キャンプ場、さくら園		
指定管理者	R5.4.1	～	R6.3.31 (一社)府中市観光協会

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	5,000 人	5,445 人	2,594 人	445 人	108.9	%
R5	5,445 人	4,728 人	-717 人	-717 人	86.8	%	
R6	人	人	人	人		%	
R7	人	人	人	人		%	
R8	人	人	人	人		%	
増減理由	○四季の里は入場が自由解放された施設であり数の把握が困難なため、入場者数はキャンプ場利用者数を計上している。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	実施なし	
	【主な意見】	【その対応状況】

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次報告書
	日報(必要随時)	×	
管理運営会議	0 回 会場	【特記事項等】	・運営上で協議が必要な事項が発生した際は、随時に協議を行い解決した。
現地調査 (実施月)	1月 2月 3月 4月 5月	【指定管理者の意見】	
	6月 7月 8月 9月 10月	【市の対応】	・あやめまつり実行委員会(4/10、8/21) ・かかしまつり実行委員会(9/14、2/19)
	11月 12月		

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	25,570	838		R4	0	0
R5	25,732	162	R5	0	0		
R6			R6				
R7			R7				
R8			R8				

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R4決算額	R5決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	25,570	25,732	162	運営経費増による増
	料金収入	0	0	0	
	その他収入	1,543	1,328	-215	市電気高騰支援金減
	計(A)	27,113	27,060	-53	
	支出				
	人件費	15,995	16,921	926	昇給による給料等増による増
	光熱水費	1,579	1,429	-150	
	設備等保守点検費	332	415	83	
	清掃・警備費等	3,228	3,536	308	トイレ小動物糞撤去清掃増による増
	施設維持修繕費	531	641	110	漏水対策修理
	事務局費	2,164	539	-1,625	公課費の減による減
	その他支出	2,208	2,680	472	樹木伐採
	計(B)	26,037	26,161	124	
収支①(A-B)	1,076	899	-177		
自主事業					
収入(C)	0	0	0		
支出(D)	0	0	0		
収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)	1,076	899	-177		

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	<p>キャンプ場、ワーケーション施設等、四季の里が持つ様々な施設を有効活用することともに、情報発信により誘客促進を行った。</p> <p>地域との連携として、地域が進める観光地域づくりである地域の文化、観光資源との連携による観光振興を協働して進めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理について、適切に行われている。 ・地域と連携した事業の実施がなされていた。 ・1年間と限定的な期間にも関わらず前管理者からの引継ぎ等手続きから、次の指定管理者への引継ぎを滞りなく行えた。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ○あやめ園の維持管理において、近年の花の状況が以前と比べ見劣りすると言われており、将来的な構想が必用である。 ○あやめ祭りは半世紀にも及ぶ歴史があり、地域との繋がりによって継続されてきた歴史がある。よって指定管理者と地域との連携は必要不可欠と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あやめ園の整備については、費用対効果を分析したうえで、今後の施設の在り方について方向性を検討していく必要がある。また、施設職員のスキルアップ、専門家等の観的な視点により調査・研究が必要。専門業者による整備も検討する。 ・イベントの在り方について整理し、地域や指定管理者と協議する必要がある。